The Northern express to 212





オンラインプレス「NEXT212」毎週月曜日発行 P M 実践講座事務局 / 地域メディア研究所 Fax (011)761-8483 Tel (011)761-6039

> vol.156 26.Apr,2004

ニセコ・羊蹄合併協5町村長フォーラム(上)

ふるさと情報 町内食べ歩きガイド

協働のまちづくり市民研究員を公募 自治体北南

DATA 学校の授業で科学的センス育つ?育たない?

ダイバーが出会った生き物

…雑誌の対談で水中写真家・澤 谷信康さんから海底の生き物の話を 聞いた。カナヅチの上に閉所恐怖症 の私にも、異次元の世界がいかに魅 力的かを感じ取ることができた。同 時に、豪州などで見かける珊瑚の白 化現象のリポートが、気になった。日 本の海の宝・沖縄の珊瑚礁も無縁で ないと聞くからなおさらだ。

…白化は、珊瑚と共生する褐虫 藻が水温の上昇などで分離すること から起きる。何千何万もの微生物の 集合体である珊瑚は、栄養失調に陥 り、最後は白骨のようになって死滅 する。白化現象の世界的な広がりは、 地球の温暖化が原因と考えられ、「異 次元の話」と済ませてはいられない。

…珊瑚が発する警鐘は、生物学 者リチャード・スミスの記録映画「無 言の番人」(98年)によって、注目を 集めるようになった。しかし、海底の 異変に最初に気付いたのは、澤谷さ んのような海を愛するダイバーたち だった。そこが余りにも美しい世界 だったからこそ、珊瑚の悲鳴は切な く聞こえてきたのだろう。

...フリーダイビングを描いた映 画「グラン・ブルー」で、主人公は「地 上に戻る理由が見つけられなくなる のが海中の恐怖だ」という。そんな最 後の楽園を守る上で、地球を一つの 生命体と見る宇宙飛行士の目や、プ ランクトンの変化にも敏感なダイ バーの目が、必要とされている。(梶)



地域の未来を考える <上>

ニセコ・羊蹄5町村長フォーラムダイジェスト

2003年9月に北海道後志支庁の倶知安、ニセコ両町が設置した合併協議会は、その後蘭越町、真狩村、喜茂別町が参加し、5町村の枠組みによる合併論議が本格化しています。去る4月5日には、新町将来構想の発表と合わせて、5人の首長にアドバイザーの川村喜芳・北海学園大学講師とコーディネーターの梶田博昭・地域メディア研究所代表が加わって、「地域の未来を考える」と題したフォーラムが開催されました。首長自身によるSWOT分析とともに、2回に分けて概要をお伝えします。

マチは何を目指し、何がカベなのか

梶田コーディネーター これからのまちづくりを進める上で、今何が問題なのか、何をどのように目指していくのか。

各集落の均衡ある発展を

宮谷内・蘭越町長 蘭越は面積が広く、市街地のほか大きく4つの集落が形成されているから、町内各地域の均衡ある発展に重点を置いたまちづくりを進めている。将来の財政運営には大きな不安があるが、合併した場合でも同様に厳しい。目先にとらわれず、納税者の立場になって、徹底した行政の無駄をなくし、効率的で計画性を持った行財政を行うことが大事だ。町民が一つの心になって郷土愛を持ち、協働しながら、まちづくりに全力を尽くしていくことが最も望まれている。

目標は「美しい世界の小都市」

達坂・ニセコ町長「小さくても美しい世界の小都市ニセコ」というまちづくりを目指したい。その底に流れる考え方は、環境への配慮、地域に根差した文化、安全な食といったイメージだ。まちづくりの担い手は、これまでの役場中心から町民主体の多様なものに変化すべき。その上でも情報共有や参加は必ず備えなければいけないものだと考えている。しかし、情報を共有化したとしても実現するための具体的なシナリオが不足している。地域課題はあるが、全国的な視点からの発信が不足している。



国や道の支援策は不可欠

筒井・真狩村長 当村では教育や福祉、基 幹産業の農業振興に力を入れるべきだと考えている。地域振興については国・道の支援策が今 後も必要だ。村づくりの将来については合併議 論を通して、地域の在り方について真剣に検討 しているところだ。結論はまだこれからだが、今 後も5町村で真剣に考えていきたい。

町民自律し役場も変化必要

津谷・喜茂別町長 まちづくりは費用がかかるので、町民と一緒になって意識を高めていきたい。町民にも一定の負担をしてもらうことを考えながら、政策づくりを進めている。町民に自律した力が付くと、役場機能も変わっていかなければならない。30%ほど一般職を削ったので大変な状態だが、やはり、役場の力としては将来起こる問題を早期に発見する力を持つ必要がある。

近隣町村との連携が生命線

伊藤・倶知安町長 倶知安は後志、特に羊蹄山麓地域の中核的な役割を果たしてきた。しかし、その役割は近隣町村の理解・協力があったればこそだ。現在は合併問題を第一に議論しているが、今後も永久的に心を割って仲良くしていくことが倶知安の生命線だと思う。倶知安をどんな町にしていくかは、住民がいかに幸せになれるか、幸せになるための環境を整えられるのかに尽きる。合併によって町がどのような影響を受けるのか、プラスになるのか、新たな角度から協議していくことは非常に有意義だ。

梶田コーディネーター 5 住民も行政も互いにあなた任せではだめだ。力を合わせる、役割分担がカギの一つではないか。それぞれの町村の持ち味、特性、「らしさ」をどのように生かしていくかが重要だ。

役場の意識改革が第一歩

川村アドバイザー 現在のまちづくりに とって最大の障害は、財政問題にある。行政の 効率化の最たるものが合併だと言わざるを得な い。総務省は自主的な合併を言ってきたが、事 実上は強制合併の方向にあることは、地方交付 税の大幅な削減に現れている。確かに国の財政 は破たん寸前なので、交付税削減はある程度や むを得ないだろうが、実際は小規模自治体が狙 い撃ちされている。道内の自治体を見ると、住 民が自ら地域づくりに汗を流している町は、行 政運営の透明性を重視するなど役場の意識が変 わってきている。まず役場の意識改革を進めることが、地域づくりには求められている。

生かせる地域資源・チャンスは何か

梶田コーディネーター これからのまちづくりを考える上で、生かせる地域資源は何なのか。チャンスはあるのか。チャンスを生かすにはどんな戦略があるのか。

コミュニティの人材生かして

宮谷内・蘭越町長 蘭越には地域のコミュニティー活動を支える人材がかなりいると自負している。温泉などの観光資源や尻別川といった自然、らんこし米をはじめとする農産物が内外に評価されている。一方の課題である農業の後継者不足、若者の流出については、できる範囲で全力を尽くして対策を進めていかなければいけない。

情報共有・住民参加ステップに

逢坂・二セコ町長 これまで二セコ町が やってきた情報共有、住民参加、透明性を大き な資源ととらえ、さらに取り組んでいきたい。具 体的には、環境重視型農業と観光との連携が非 常に大きな目標だ。さらに、近年ニーズの高まっ ている子育て支援について、幼稚園や保育所の 在り方を見直し、新たな教育へのアプローチと して取り組みたい。「ニセコブランド」の活用も 地域の資源であり、チャンスである。

北海道	面積	人口	職員数	財政力	1人当り	1人当り	経常収支
町村名	(km²)	(人)	(人)	指数	積立金(円)	地方債(円)	比率(%)
蘭越町	450	6,249	138	0.17	275,279	1,583,636	81.6
ニセコ町	197	4,571	89	0.25	325,185	1,714,019	77.0
真狩村	114	2,524	63	0.13	368,029	1,576,849	81.1
喜茂別町	190	2,818	66	0.66	177,517	1,362,167	89.1
倶知安町	261	16,113	172	0.37	45,622	730,344	83.7

5 町村の概要

(2002年度決算から、人口は2002年9月末、職員数は2001年度決算カードから)



特産物と人材生かし農業振興

筒井・真狩村長 農業が地域産業の柱であり、日本一のシェアを誇る食用ユリ根などの特産物をさらに発展させたい。比較的農業後継者が多いことからも、将来を担っていく人材があることを誇りに思っている。村立の農業高校と農業振興との連携を図る道も探っている。こうした人材育成もしながら、村の将来を考えていきたい。

青年のまちづくり活動を核に

津谷・喜茂別町長 人的資源として多様なボランティア活動がある。特に、農業や商工業に携わる青年が、職種を超えたまちづくり活動を進めている。国道2路線が通過する地の利とアスパラガスなどの観光資源ももっと生かしたい。悩みは、若者の定住促進、少子化対策だが、5町村の連携によって町からの委託業務の受け皿となる組織ができるなど、若者の雇用の場の拡大に期待が持てる。

多様な知識経験を地域に還元

伊藤・倶知安町長 倶知安は行政、民間を含め転勤族が多い。オーストラリアの人たちに代表されるように、単にスキーなどのレジャーに来るだけでなく、そこに住んで観光事業に投資するという傾向がある。彼らの知識や経験を、地域に還元してもらうことを期待している。さらに、まちづくり・人づくりの機運を押し上げ、定着させたい。豊富な人材をどう生かすかが、今後の課題だ。

人材のネットワーク化もカギ

梶田コーディネーター 各町村に共通する 地域資源として、人材の豊かさが挙げられ、女 性や中高年齢者の社会参加が活発になり、若い 世代を中心にNPO活動も活性化している。そ の人材をいかに生かし、ネットワーク化させる かが、今後のまちづくりを進める上でチャンス になる。

(「広域圏の視点」「どう最終判断」は次号で)

機会・行政ニーズに関して	蘭越	ニセコ	真狩	喜茂別	倶知安
介護支援/子育で支援					
住民参加/協働によるまちづくり					
行政のスリム化/簡素効率化					
住環境の整備充実					
産業振興・雇用の場確保/農観商の連携					
商店街の活性化					
環境保全					
教育環境の整備					
医療体制の整備					
ITインフラの利活用					

脅威・行政ニーズに関して	蘭越	ニセコ	真狩	喜茂別	倶知安
消費の流出/商店・商店街の活性化					
雇用の場減少/若い世代の就業の場の不足					
産業後継者の不足					
財政危機/三位一体改革の影響					
コミュニティの崩壊					
少子高齢化に伴う負担の増大/人口減少					
電子自治体化に伴う情報の流出					
夜間休日の救急診療体制					
介護サービス体制					

5町村長による「わがマチ SWOT 分析」から





5町村長による「わがマチ SWOT 分析」から

機 会	蘭越	ニセコ	真狩	喜茂別	倶知安	合計
高齢者の社会参加						4
地方分権の推進						3
高速交通網の整備進展						3
高度情報化の進展						3
安全食品・スローフード指向						3
ノーマライゼーションの進展						3
都市住民の田園指向・地方の見直し						2
自然指向のスポーツ・文化振興						2
循環型社会の実現						2
NPO活動の活発化						2
コミュニティビジネスの振興						2
海外からの観光客の流入拡大						2
男女協働社会の実現						1
自然エネルギーの活用						1
IT産業の振興						1
構造改革特区など規制緩和						1
物流の効率・高速化						0
里山保全の重視						0
まちづくりの機運の高まり						
人口微増(に対応した定住化政策9						
人材の育成						
グリーンツーリズムの高まり						
生きる力育む教育の高まり						
食の安全意識の高まり						
自治意識の高まり						
外国人による観光関連事業の進出						

脅 威	蘭越	ニセコ	真狩	喜茂別	倶知安	合計
国・地方財政の逼迫						5
少子高齢化・生産人口減少						5
過疎進行・都市集中						2
自然破壊・環境汚染						2
伝統文化・祭りの衰退						1
地域住民の共助関係の薄れ						1
高速交通網の整備の遅れ						1
情報技術者の人材難						1
医療従事者不足の深刻化						0
情報過疎の深刻化						0
国の経済基調の変動						
冬型観光の弱体化						
観光リゾートの地域・国際環境の激化						
個人情報の保護						
消費者が求める「食」の安全基準						

この集計表は、本誌第153号に添付した「SWOT分析シート」をベースにしています。 の項目はチェック方式で、その他は自由書き込みのあった項目です。





拾い読みHP

212ふるさと情報

(アクセスは http://com212.com からどうぞ)



4/19 栗山町 「食ベアルキクリヤマ」「新着情報」に、町青年団体協議会が発行した無料情報誌「食ベアルキクリヤマ」が紹介されています。町内の飲食店などの紹介に加え、サービスが受けられるクーポン券がセットになっているのが特徴です。

4/19 美唄市 福祉のまちづくり条例と考え方 美唄市が策定した「福祉のまちづくり条例」と、その考え方をまとめたPDFファイルがアップされています。

4/19 深川市 行財政改革の解説 広報「ふかがわ」4月号がアップされ、同市の行財政改革の取り組みを、具体的に分かりやすく解説しています。

4/19 根室市 地域情報化計画 根室市が 策定した「市地域情報化計画」のPDFファイ

NEXT212 INFORMATION

本誌の定期配信のお申し込み・お問い合わせ等は下記へどうぞ。配信は無料です。

事務局:電話011(761)6039 E-mail:next@com212.com ルがアップされています。IT(情報技術)を活用した地域づくりを総合的、計画的に推進するための計画で、一括ダウンロードの場合は約1.5 MBです。

4/19 上湧別町 チューリップ開花日記 町観光協会ホームページ で提供がスタートした 「チューリップ開花日記」 情報がアップされていま す。ライブカメラ映像も

確認出来るそうです。

4/19 弟子屈町 町100年記念誌 町100年記念誌 (写真集)の販売開始情報がアップされています。タイトルは「風・人・大地」(B5版196ページ)で、1冊2,000円だそうです。



4/19 小清水町 原生花園「火入れ」 原生花園「火入れ」 実施情報がアップされています。植生回復を目的として例年実施されているのだそうで、今年の予定日は4月28日。国道の一部で交通規制が行われるなど、なかなか大掛かりです。





NEWS

4/21 宮島町 (広島県) 早期合併 を求め県知事が勧告

広島県は、地方自 治法に基づき、財政 悪化が続く一方で合 併論議が進展しない 宮島町に対し、住民

投票の早期実施により速やかな合併先の決定 を促す知事勧告を行った。勧告では、合併先の 候補として上がっている廿日市市か広島市か、 いずれかに絞り込み、2005年3月末の合併特 例法の期限までの合併に向けて、具体的な協 議に入るよう求めている。

4/20 北海道 道州制で試算、公共事業 費は1800億円減少

北海道開発局は、道州制の導入によって北海道と組織統合された場合、他府県に比べて補助率が優遇されている「北海道特例」の廃止により、道内の公共事業費が年間で約1800億円減少するとの試算をまとめた。事業費減少に伴い、建設業従事者を中心に約2万4千人が職を失い、道内の失業率が0.8ポイント上昇する、としている。

4/19 大和町(福岡県)「まほろば連邦」 歴史に幕

「大和(やまと、だいわ、たいわ)」の名前の 全国12市町村による自治体サミット「まほろ ば連邦」は、福岡県大和町で開いたサミットを 最後に15年間の連携の歴史に幕を閉じた。 1989年に建国宣言し、毎年持ち回りでサミットを開き、交流を深めてきたが、「平成の大合 併」により、大半の自治体から「大和」の名が 消える見通しとなったため。

4/16 釜石市(岩手県) 男女共同参画の 指針に数値目標を設定

釜石市は、「新男女共同参画プランかまいし 21」を策定、市民や民間企業、団体と一体と なった取り組みを推進する指針をまとめた。 この中で、目標の2007年度までに小中学校で の男女混合名簿を100%、審議会などの女性委員の比率を50%に引き上げるなど、数値目標を設定した。女性に対する暴力の根絶や子育て支援体制の整備など32の施策を掲げた。

4/15 向日市(京都府) 協働のまちづく り目指し、市民研究員を募集

向日市は、地方分権時代にふさわしいまちづくりの推進方策などを研究する行政経営シンクタンク「コラボレーション研究所」の市民研究員の募集を開始した。市民研究員と市職員の庁内研究員、学識経験者ら10人余りのメンバーで、6月に新設する。「市民協働促進基本方針(仮称)」の策定や、まちづくり活動の支援センター整備などについて検討する。毎月1~2回会合を開くほか、ワークショップ活動や情報誌の発行も予定している。

4/9 川崎市(神奈川県) 地域課題の調査・研究を市民に公募委託

川崎市麻生区は、地域の課題について市民に調査・研究を委託、具体策を提案してもらう事業を2004年度からスタートさせた。これまでは、区役所内で取り組むほか、コンサルタント業者に委託するなどしてきたが、地域の実情により敏感な市民の参画を求めることで、よりきめ細かな視点で課題を掘り起こすのが狙い。企画を公募し、委託料を支給する。

4/1 臼杵市 (大分県) 電子決済システム導入、合併後の分庁に対応

臼杵市は、本庁舎内とすべての出先機関のパソコンを結ぶネットワーク上で、文書管理や決裁などを行う「総合行政運営システム」を稼働させた。情報公開に対応した文書管理と、業務の効率化などが目的。書類の回覧が不要となるため短時間で決裁できるほか、ICカードを使用することで情報の流出を防止する。分庁方式となる2005年1月の野津町との合併後も、効率的な行政執行が可能という。

(アクセスは http://com212.com からどうぞ)



学校での理科や数学の授業

が生徒の科学的センスを育て

るのに役立っているかについ

て、肯定派は36.1%で、否定

派(43.0%)を下回った。年齢

別では、高齢者と若い世代で

科学技術の発展に対し不安

を抱く分野については、「遺伝

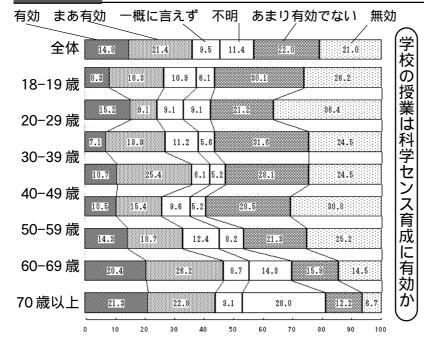
子組換え食品などの安全性」

が全体の 60.3% と最も高く、「個人のプライバシーに関する

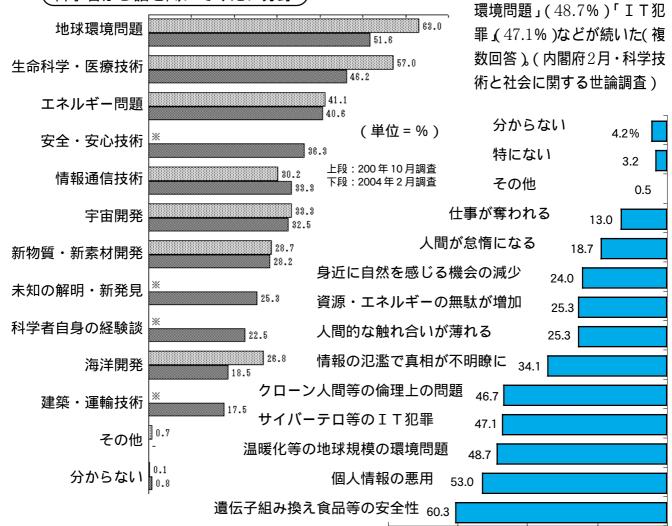
情報の悪用」(53.0%)「酸性 雨・温暖化などの地球規模の

逆転現象を見せた。

DATA 43%が理科・数学で科学センス育たない



科学者から話を聞いてみたい分野



科学技術の発展を不安に思う分野



